

## 令和7年度 末広小学校 学校評価結果

保護者の皆様や児童のアンケート調査結果等を受け、令和7年度の教育活動の成果と課題、来年度に向けての対応策を以下のように示させていただきます。

### 1 確かな学力の育成

#### 【成果】

- ・「話し合い活動が楽しい」と回答した児童が増えており、意見を交流しながら、学び合わせることができた。
- ・学年で研究授業に取り組み、相互参観授業をしながら、教員の授業力向上を図ることができた。
- ・外部講師を年間7回招いて国語の研修会や授業研究を行い、教師の指導力向上につながった。
- ・CRT 学力検査の結果から、学習の定着において成果がみられた。

#### 【課題】

- ・児童の主体的な学びにつながるような授業への指導方法の移行が不可欠である。

### 2 豊かな心の育成

#### 【成果】

- ・児童が楽しいと思える学校の雰囲気を教職員全体が意識をもつことで、「学校が楽しい」と回答した児童が昨年度を上回ることができた。
- ・教職員の児童理解につながる情報の共有方法を工夫し、いじめ・不登校の未然防止への取り組みや、いじめ・不登校・問題行動に対して、適切な対応を心がけることができた。

#### 【課題】

- ・授業準備、机上の整とん、下敷きの使用、発表、姿勢、チャイム席など、学習のルール・マナー（学びのルール5か条）は継続した指導が引き続き必要である。
- ・社会生活のマナーなど、基本的な生活習慣の確立について、引き続き指導が必要である。
- ・情報モラルについて、引き続き家庭への啓発とPTA・学校運営協議会との連携を図り、その充実に努めていく。

### 3 健やかな体の育成

#### 【成果】

- ・冬季に縄跳び週間を設定し、中間放課に「リズム縄跳び」を実施したことで、体力の向上に努めた。

#### 【課題】

- ・「早寝・早起き」については、児童・保護者ともに昨年度より低下した。今後引き続き指導が必要である。
- ・朝食を食べない児童が増えているため、保護者への情報発信を行っていく。

### 4 信頼される学校づくり

#### 【成果】

- ・つながりを意識した学校経営を推進したことで、「学校は子どもたちを理解している」という保護者の割合は高く、信頼される学校経営を行うことができた。

#### 【課題】

- ・学校ウェブサイトが保護者にとって必要な情報が得られるツールとなるよう tetoru 配信とともに、よりよい発信の仕方を工夫していく必要がある。
- ・「教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」に基づき、引き続き、多忙化解消に係る業務改善に努め、ワークライフバランスを図る必要がある。